

心温まる子どもたちのお話

エピソード1



6月下旬、三丁目公園。ベンチに座っておやつを食べていた4年生の男の子と女の子。公園の木に、害虫はいないかなど、調べに行かれた安全ボランティアの山下さん。イラガの幼虫がいる葉っぱを見つけたので、それを駆除し、その二人に話しました。「この虫から刺されたら痛いから、葉っぱがこんな風になってたら気をつけんといかんよ。」「じゃあね。」と帰ろうとすると、その男の子が「ちょっと待って下さい。僕たちが知らないことを教えてくださいましたので、どうぞ受け取ってください。」と、持っていたおやつのチーズを渡したとのこと。一緒にいた女の子も「これもどうぞ。」とチョコを渡そうとしたのだとか。山下さんは、この話、早く学校に伝えなければ・・・と教えて下さいました。「先生！誇りですね。」と言われます。そうです！美咲野小の誇りです！

エピソード2

5月頃の正門前での出来事。横断歩道の向こう側、黄色い帽子の女の子。お母さんと離れがたくて（お母さんは生後間もない赤ちゃんを抱っこされていました。）泣いていました。同じ登校班の2年生の男の子。他のメンバーは渡ってきたのですが、ずっとそばにいます。私が横断歩道



を学校側から渡って、一緒に行こうと誘うと、1年生の女の子は、名残惜しそうにお母さんと離れ、横断歩道を渡りました。2年生の男の子も一緒に。正門を3人で過ぎると「ぼくもおんなじことあったよ！校長先生と一緒にいったことあったよ。」と2年生の男の子が言いました。そして、児童玄関まで送って行ってくれました。



エピソード3

同じく正門前。3年生の女の子。なかなか学校の中に入っていきません。「誰か待ってるの？」「はい。途中で同じ班の子が、忘れ物を取りに帰ったから・・・」「私も待ってもらったことがあるから。」とのこと。お返しをしたかったのですね。



エピソード4



6年生と一緒に花を植えたり、草取りをしたりすることがあります。私がいくつか指示を出すと、察知して次々と動いてくれる子どもたちもいます。ホントに感心。ある日、「じゃあ明日は、ここの草取りを二人でお願い！」と頼んで掃除の時間終了。ところが、頼んだ女の子、翌日体調が悪くなり、早退することに。「校長先生に申し訳ない・・・」と言い残して、早退したのだそうです。頼んだもう一人の男の子。「○○さんが来たら、この間のとこ、草取りしますね！」と爽やかに言ってくれました。うれしいできごとでした。



子育ての悩みについて語り合いましょう！

子育ては、親育てだと言われます。誰しも、多かれ少なかれ、悩みながら子育てしているものです。「早く寝かせなきゃ！と思うんですけど、どうしても仕事で帰りが遅くなり、夕食やお風呂も遅くなり・・・結局寝るのも遅くなり・・・朝起ききれなくて、朝から、怒って送り出してしまいます・・・」（これは昔の私の姿）等々。子育ての悩みを隠すのではなく、みんなで「そう！そう！」「私もおんなじ！」「大変だよね！」と、分かち合いましょう。笑ったり、怒ったり、泣いたり、困ったりしながら、みんなで子育て、楽しみましょう。



美咲野小だより

7月 

NO.6
H30. 7. 13
大津町立
美咲野小学校
文責：草場ルミ子

美咲野の



台風・豪雨から一転、とっても暑くなりました。時期を逸してしまつたのですが、皆さんは、運動場南側の道沿いに、紫陽花の花がたくさん咲いているのをご存じですか？紫陽花ロードにしようかと、安全ボランティアの山下さんが、がんばっておられます。昨年度、ある方から、珍しい紫陽花を、切り花でいただきました。「せっつかくだから挿し木で増やしたい」と、花いっぱいボランティアアさんに相談すると、「それなら、山下さんが上手だから」とお聞きしました。昨年の紫陽花の季節が終わって山下さんにお聞きしたところなんです。その紫陽花も紫陽花ロードで可憐な花を咲かせていました。

